

回折光学素子の設計

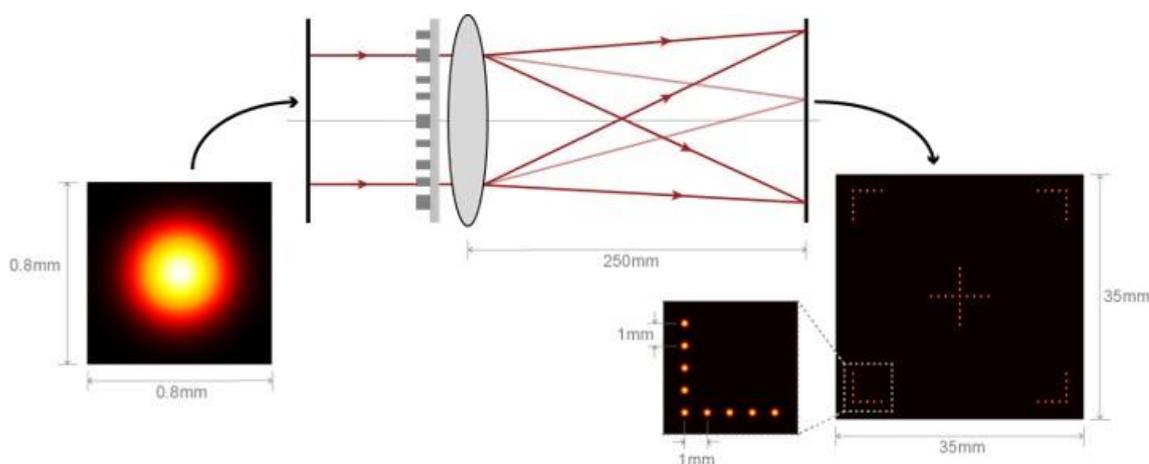
回折光学素子(DOE)は、パターン生成の成長分野において基本的な役割を果たし、それらの設計には、他のタイプのコンポーネントに使用されるものとは実質的に異なる特定の技術を要します。

VirtualLab には反復フーリエ変換アルゴリズム(IFTA)のような回折素子を実設計および最適化するために使用される特定の技術があります。セッションエディタで完了する簡便なガイドは、ユーザーを設計プロセスを通して導き、詳細な背景知識の必要性を排除します。設計制約の自動チェックは、このプロセスに含まれます。

2D ライトマークを生成するための回折型ビームスプリッターの設計

VirtualLab における反復フーリエ変換アルゴリズム(IFTA:Iterative Fourier Transform Algorithm)は、カスタマイズされたビームスプリッターを効率的かつ柔軟に設計することができます。

[詳しくはこちら](#)

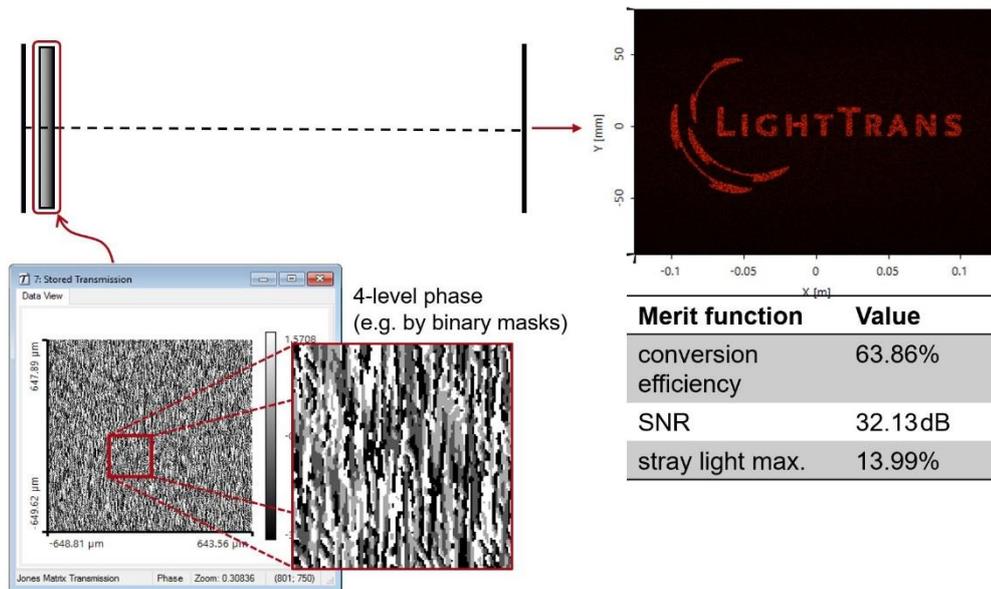


LightTrans マークを生成するための

回折型ディフューザーの設計

連続的または離散的な位相を有する2つの回折型ディフューザーが、LightTransのマークを生成するために設計されます。それらの性能を検証します。

[詳しくはこちら](#)



☆無償トライアル版、トレーニングのお問い合わせは下記までお知らせください

株式会社プロリンクス

営業部 VirtualLab 担当

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町 17 番地 SIA 神田スクエア 3 階

Tel: 03-5256-2053 / Fax: 03-5256-2272

Email: virtuallab@prolinx.co.jp

URL: <https://www.prolinx.co.jp/virtuallab/>

